

新舞子体育施設（多目的運動場・フットボール場）オープン記念事業

■事業概要・目的

新舞子体育施設のオープンに合わせ、多目的運動場において、各種スポーツの体験教室やゲストアスリートによるイベントを、またフットボール場において、15歳以下のサッカーリーグ等をそれぞれ開催するもの。

■開催日 平成28年4月9日、5月21日

■会場 新舞子多目的運動場、新舞子フットボール場

■参加人数 約700人

■事業費 976,320円

■実施内容

○多目的運動場オープン関係（4月9日）

・オープニングセレモニー

（市長あいさつ、感謝状贈呈、来賓祝辞・紹介、祝電披露、ゲストアスリート（北京五輪ソフトボール金メダリスト 馬淵智子氏外）紹介、テープカット、記念撮影等）

・施設無料開放イベント

各種スポーツ体験教室（ソフトボール・サッカー・軟式野球・ラグビー）、ゲストアスリートとのふれあい&サインボールプレゼント等

○フットボール場オープン関係（5月21日）

・オープニングセレモニー

（市長あいさつ、来賓祝辞・紹介、フットボール場引渡し、感謝状贈呈、新舞子ヴィレッジ横幕披露、蹴り初め式等）

・施設開放イベント

U-15いわきサッカーリーグ開催（4試合）

■事業の成果・今後の施策等への反映

本施設の供用開始に伴いオープニングイベント等を実施したことにより、参加した子ども達の記憶や経験として残るとともに、本施設のオープンが市内外に広く周知され、利用の促進に繋がっていくものと思われます。

今後も本施設の利活用を図ることを通じて、子どもの夢や希望を育むことに繋げて参ります。



多目的運動場スポーツ体験教室（ラグビー）



多目的運動場スポーツ体験教室（ゲストアスリートとのふれあい）



新舞子フットボール場オープニングセレモニー

南部スタジアム人工芝化オープン記念事業

■事業概要・目的

「第3回WBSC U-15 ベースボールワールドカップ2016inいわき」の会場として、人工芝敷設工事が完了した南部スタジアムのオープンに合わせたイベントを開催するもの。

■開催日 平成28年5月1日

■会場 南部スタジアム

■参加人数 約300人

■事業費 999,940円

■実施内容

U-15 ベースボールワールドカップ大会の応援大使である中畑清氏を招いて子ども達を対象とした野球教室を開催。

・オープニングセレモニー

（市長・来賓あいさつ、祝演（植田中学校吹奏楽部））

・中畑清野球教室

（開会式、講師紹介、準備体操、走塁・守備練習、打撃練習、質疑応答、講評）

・グラウンド体験（市民対象）

野球教室受講者以外の市民を対象としたグラウンド体験

■事業の成果・今後の施策等への反映

野球教室受講者は、募集定員の100名を大幅に超える200名以上から応募を頂き、多くの子ども達が講師と触れ合うことができ、また、野球部以外にも吹奏楽部の子ども達がセレモニーに参加するなど、子ども達が主役のイベントとなりました。

報道もテレビ3局、新聞5紙に取り扱ってもらい、施設オープンの周知やU-15 ベースボールワールドカップの開催機運を高めることに繋がる情報発信ができたと考えます。

今後は、より多くの市民の皆様にご利用してもらえるよう情報発信に努めるとともに、県内初の人工芝施設であり、冬季の使用も雨天時の使用も容易であることから、合宿などの受入先として活用し、地域への経済効果向上を産み出す施設として参ります。



第3回WBSC U-15 ベースボールワールドカップ 2016in いわき

■事業概要・目的

国内初となる15歳以下の野球世界大会「第3回WBSC U-15 ベースボールワールドカップ 2016in いわき」を開催地として支援することを通して、スポーツの振興や本市の知名度・都市イメージの向上等を図るもの。

■開催日 平成28年7月29日～8月7日

■会場 いわきグリーンスタジアム、南部スタジアム、平野球場

■参加人数 47,151人

■事業費 35,761,000円

■実施内容

4月に、プロジェクトチームを発足させて準備を始め、企業や学生などのボランティアスタッフの協力をはじめ、官民一体となって運営を支援。

【主な活動】

- 1000日前イベント（元巨人松本匡史ティーボール教室）
- ラッピングバス、カーの運行
- PR看板、横断幕、のぼり旗等の設置
- U-15日本代表鹿取監督ティーボール教室
- がんばっぺ！いわきナイター「巨人VS中日」
- 市内小中学校応援給食
- 1校1国・地域運動
- Hulaと世界の美食の祭典

【出場国・地域（12の国と地域が）】

- グループA（日本、韓国、キューバ、オーストラリア、チェコ、コロンビア）
- グループB（アメリカ、フィジー、タイ、ベネズエラ、メキシコ、パナマ、ニュージーランド）

【最終結果】

金メダル：キューバ、銀メダル：日本、銅メダル：アメリカ

■事業の成果・今後の施策等への反映

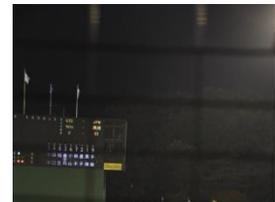
大会期間中、47,151人の来場者があり、内4,648人は海外からの来市者でした。

また、県内テレビ局での放映はもとより、日本戦は全試合BS放送で全国中継された他、YouTubeライブ配信も行われ、世界各国にインターネット中継され、国内外多数の方々から本市の情報が発信されました。

本大会による経済効果は8億8千万円（東日本国際大学試算）であったことから、地域経済への波及は大きかったと考えられます。

このほか、大会に付随した取り組みである、1校1国・地域運動等を通じ、市内中学生と各国選手達との交流が随所で図られ、国際感覚の醸成に寄与したものと考えます。

本事業の実績やノウハウを生かし、今後も国際的な大会の開催機会などを捉えて、スポーツなどによる交流事業を積極的に展開しながら、東京オリンピック・パラリンピックの野球・ソフトボール競技やトップスポーツ等の合宿の誘致につなげ、国内外に向けて、「明るく元気ないわき市」を発信して参ります。



PR看板（いわき駅）



ラッピングカー

みらいを描くわかもの創生会議

■事業概要・目的

市の将来を担う高校生と同じく県内の中核市である郡山市の高校生を対象に、まちづくりについて検討する会議を開催し、まちづくりに関する意識とふるさとへの愛着の醸成を図るとともに、地域の将来を担う若者達の市政参画の機会拡充を図るもの。

■開催日 平成28年9月22日

■会場 いわき市文化センター大講義室

■参加人数 105人

■事業費 414,981円

■実施内容

両市の高校生（いわき市20名、郡山市13名）が参加し、各市で事前勉強会を開催し「理想のまちを実現するためにできること」について、「まち」「ひと」「しごと」のテーマごとにグループワークを実施。検討結果をもとに、テーマごとにグループに分かれて発表。

- 1 はじめに
- 2 市長あいさつ（いわき市長・郡山市長）
- 3 発表
 - ・まち～活気にあふれ、利便性の高いまちにするために～
 - ・ひと～結婚・子育てしやすいまちにするために～
 - ・しごと～快適に働けるよう、職場環境を整えるために～
- 4 総括
 - ・小野福島県教育委員会委員
- 5 高校生に向けたメッセージ

■事業の成果・今後の施策等への反映

高校生が、自らが生活するまちの課題を、地方創生の柱である「まち」「ひと」「しごと」のテーマごとに認識し、それらを解決するための対応策を両市長に提言していただきました。

この間、事前勉強会等を通じて、それぞれのまちの現状をしっかりと捉え、また、その課題の解決策を提案・発表する過程は、参加した高校生の貴重な経験となり、市の将来を担う人材育成に繋がるものと考えます。

本事業の内容については、報告書を作成し、庁内に情報提供を行っており、今後の施策立案や業務事務の参考として活用できればと考えております。



スマイルアートプロジェクト

■事業概要・目的

地元の高校生や大学生等が中心となり、市の歴史や代表的な建物などをテーマに、市民の笑顔の写真で大型のアート作品を作成し、市制施行 50 周年記念式典の会場に展示するもの。

■開催日 平成 28 年 10 月 1 日

■会場 いわき芸術文化交流館

■参加人数 28 人

■事業費 2,463,000 円

■実施内容

6 月と 7 月にワークショップを開催し、4 つのグループに分かれ作品デザインや作品に載せるメッセージなどを検討。

次の 4 点（作品サイズ：2 m×2 m）を制作することとし、参加者した高校生等が使用する写真の撮影・収集を実施（撮影枚数：550 枚）。

完成した作品を式典会場の出入口やエントランスに展示。

- ・ A グループ
テーマ（代表的な建物施設） 白水阿弥陀堂
- ・ B グループ
テーマ（イベントやお祭り） いわき丸どんとやれ、大漁旗！
- ・ C グループ
テーマ（歴史や文化） じゃんがら念仏踊
- ・ D グループ
テーマ（自然や風景） いわきの海岸線



ワークショップ



■事業の成果・今後の施策等への反映

本事業の参加者については、特定の学校や団体を対象とせずに、興味を持って参加していただける方を対象としたため、人数の確保・確定に時間を要し、また素材集めも、限られた時間の中で、一人ひとりに説明・理解を得て行う作業であったため、参加者からは大変だったとの感想がありました。

一方、そうした中で、多くの方々に撮影への御協力をいただき作品が出来上がったことについて、参加者からは「満足できる作品となった」や「良い経験となった」などの感想をいただき、参加者にとって 50 周年を記念して行った本事業が貴重な時間・経験になったものと考えます。

アリオス・バレエシアター2016 下村由理恵版 くるみ割り人形

■事業概要・目的

バレエを習う子ども達の技術向上と、将来の夢を育むこと等を目的に、下村由理恵氏をはじめとした現役のトップレベルのバレエダンサーの指導の下、数ヵ月にわたりワークショップを実施し、バレエ作品を創り上げ、その作品を公演するもの。

■開催日 平成 29 年 3 月 5 日（公演日）

■会場 いわき芸術文化交流館大ホール

■参加人数 753 人（観覧者）

■事業費 11,285,061 円

■実施内容

○ワークショップの開催

いわきオリジナルのバレエ作品を創作するため、公募により集まった小学校から高校までの 22 名によるワークショップを開催。

・平成 28 年 11 月～平成 29 年 3 月（開催数：23）

○公演（成果発表）

・構成・振付・演出・出演：下村由理恵

・出演：下村由理恵バレエアンサンブル、ワークショップ参加者

■事業の成果・今後の施策等への反映

広報のため、講師やゲストダンサーの方々にラジオ番組へ出演していただいた他、ワークショップ参加者に新聞社への訪問やアリオスホームページのブログで PR してもらうなど、参加関係者が一つになって公演の成功に向けて取り組むことができました。

また、約 4 ヶ月のワークショップの期間中、バレエの基本となるバレレッスンと基礎練習を欠かさず実施し、地道な練習の積み重ねが本番で生きてくることを体験していただきました。

こうした経験は、子ども達にとって、ダンサーとしての技術向上だけでなく、人間的な成長にも繋がるものであり、今後も、市内のバレエ関係者と協力しながら、芸術・文化活動の発展に貢献して参ります。



撮影：白土亮次



撮影：白土亮次



撮影：白土亮次